

2013年10月4日



日本耐震天井施工協同組合

## ～ 耐震天井に関するQ&A ～

- Q. 天井ふところが短い場合でも耐震天井は必要なのですか？
- A. 吊ボルトの長さが10cm程度でも落下した事例があります。ふところの長さに関わらず落下対策は必要と思われます。
- Q. 天井を耐震化する為には、どのような事が必要なのですか？
- A. 天井の耐震化には、①部材同士を連結するハンガー・クリップ等のパーツ補強、②水平力を適切に受け止める斜めブレース、③天井と壁等との衝突を防ぐクリアランスの設置、以上3つ全てを行う必要があります。
- Q. ALC屋根や折半屋根の場合、インサートでは無く専用金具にて吊ボルトを設置しますが、天井を耐震化するに当って特に問題は無いのですか？
- A. ALC屋根・折半屋根に限らず、鉄骨造やデッキプレート等に吊ボルトを設置する際、一般的には専用の吊金具を用いる事が多いと思います。
- 但し、天井を耐震化するに当って、吊元は斜めブレースを介して大きな力が掛かる重要な部分となります。その為、吊元には鉛直方向の耐力だけでなく、水平方向の耐力が証明できる商品が必要とされます。
- これらの専用金物で水平方向の体力が証明できる商品、耐震天井の吊元として適切な強度を有している商品は、殆んど無いのが現状かと思われます。
- Q. 免震の建物でも天井の耐震化は必要？
- A. 国土交通省告示・第774号に免震建築物についての規定がありますので、免震建築物についても規定に該当する場合、天井の耐震化は必要と思われます。
- Q. 免震建築物の天井が落下した事例はありますか？
- A. JACCA認定工法で施工した現場についての天井落下被害は確認しておりません。その他の工法での被害は情報が無く分かりません。

Q. クリアランスを設ける場合、その収まりはどの様になるのですか？

A. クリアランスの収まりについては意匠性に関わりますので一概には言えませんが、金物メーカー等より各種部材が販売されております。

Q. J A C C A天井耐震診断士になるにはどうしたらよいでしょうか？

A. 組合員もしくは天井診断士会員として J A C C A への入会が必要となります。

その後、天井耐震診断士認定講習を受講し認定試験に合格後、所定の手続きを経て天井耐震診断士認定証が発行されます。

なお、認定試験の受験資格として、建築関係の国家試験（\*）を保有されていることが必要です。 （\*）1・2級建築士、1・2級施工管理技士、技術士等